

## 平成31年まちづくり懇談会 顛末書

開催日時	平成31年1月20日（日）10:00～10:56
会場	花園生活館
自治会名	高園自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、本庄副町長、高野教育長、坂総務企画部長、岩淵総務企画部参事監、米田住民福祉部長、渡辺健康生活部長、酒井経済部長、木村農林水産部長、上田教育部長、柴田企画課長、寺田企画課主幹 以上12名</p> <p>【自治会側】 19名（男性17名、女性2名、議員1名）</p>

### 《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	司会 柴田企画課長
会長挨拶	高園自治会長
町長挨拶	大野町長
職員紹介	柴田企画課長
資料説明	<p>渡辺健康生活部長 1. 「脳・脊髄外来のご案内」について</p> <p>坂総務企画部長 2. 「静内庁舎の電話が変わります」</p> <p>柴田企画課長 3. 「婚活事業について」口頭説明</p>
意見交換 自治会員A ・自治会に期待すること ・JRについて ・教育について	<p>自治会の花壇整備は過去に80人くらい集まっていたのですが、今は30人程度となり、厳しくなっていて、高齢化による人手不足、担い手不足になっていますが、町長が自治会に期待する役割や思いを聞きたい。</p> <p>また、JRの問題について聞きたいのですが、大野町長が町長会議で支援し、事実的に復旧しない方向に行くと思いますが、浦河町長が復旧したと言いまして難航しているようですが、具体的に公共交通の維持や取組についてJRと交渉するうえで、どういう視点をもってやるのかお聞きしたい。</p> <p>次に、教育についてですが、小中一貫から高校も視野に入れて地域で教育をやろうという取組もあると思います。コミュニティ・スクールという取組です。こういう新しいシステムなどを導入しながら、全国でも下から数える程度の基礎学力の低さを解消しながら、地域の担い手を育てる意味では、この地区には農業高校という素晴ら</p>

大野町長

しい高校がありながらあまりPRできていないと思う。何とか全国区にしてもらいたい。そのようなことから教育からまちづくり、スポーツも含まれると思いますし、ボランティア事業も入ってくると思うのですが、このコミュニティ・スクールのことと、今までは「おちこぼれ」というキーワードがあって、底辺を上げることが必要ですが、最近私が思うのは「ふきこぼれ」というキーワードがある。これについても意見をお聞かせ願いたいと思います。

自治会の皆さまに対する期待とか役割ということでございますが、町長になってからいろいろな会合に出席させていただきまします。その会合に出て一番感じるのは、高齢化していることです。自治会に限らずボランティア組織や団体の活動についても高齢化しています。そういう中で若い方をどのように参加してもらうのかというのは、私どもの町だけではなく全国的な問題になっていると思います。自治会に加入しない方が多くなっていることもあります。私が札幌に住んでいる時にアパートやマンションの入居者が自治会員にならない方がいます。自分たちでごみの場所を確保していれば良いのですが、小さいアパートというのはごみ箱を設置しないで、自治会の皆さまが管理しているごみ箱に捨てていくわけです。そのようなことを間近で見ていると、自治会に入らなくてもあそこにごみ箱があるから良いじゃないか、自治会費を払わなくてもごみは捨てられるし、除雪もしてくれるし、自治会に入らないという風潮があるのですけれども、例えば、災害があった時に1軒ごとに大丈夫ですか、逃げましたかと行政が1軒ずつ行うのは不可能です。自分の身は自分で守るというのは基本ですが、自治会やボランティアグループ、サークル活動している方など、そういう方々が中心になってやらなければならない。しかし、高齢化していくとそういうシステムができあがらないという問題があります。若い人たちにそういう気持ちがないというわけではないと思います。9月6日の地震の災害があった時に、私どもの町から若い人たちが直ぐに現場に行って炊き出しをしたり、いろいろなことをやって、被災地のシステムが整ったらあるお宅に行き、煙突が崩れそうだと聞けば自分のユニックを持って行って煙突を外してあげた話を聞きました。そういうことを無償でやっている方々もいるのです。また、少しでも支援をしたいということでお祭りの時にお店を出して、収益を私どもに届けていただいて日赤に届けたこともあります。若い人たちの気持ちの中には、まるっきりそういうことがないということではないです。そういうことをやっている方をもっと町内の方々に知ってもらいたいし、町内にどのようなボランティア団体があって、どのようなことをやっているのかということをも私も全てはわからないのですが、そういうことを一つひとつ町広報などで紹介しながら、活動に参加しませんか、横のつながりを作りませんかなど、そのようなことをしながら少しずつ若い人たちにも参加してもらうような芽を出していきたいと思います。

また、婚活の話がありましたが、町が主体となって企画立案するということは辞めて、公募により町民の方が入っていただき手作りでやっております。さまざまな年齢層の方もいらっしゃいますが、そういう方々が積極的に参加してくれることによって、輪にして広げていくことができれば良いと思っています。すぐに若い人たちが入るかというのは問題ですが、そういうことを地道につなげていくことが重要だろうと考えており、そのうえで自治会というものをきちんと組織して活動していただいて、有事の時に助け合うことができる仕組みにしていきたいと思っています。自治会活動は

<p>自治会員A ・ゴミステーションについて</p>	<p>全国的に問題になっていると感じておりますし、地方では自治会活動が行われていますが、都市部にいきますとほとんどない状態になっています。</p> <p>自治会で一番問題になるのは、日々のごみです。設置位置も業者と話し合ってくださいということもあるのですが、ごみ箱の設置を明確に自治会が責任を持つ、ごみ箱を持つ世帯で責任を持つなど行政側から明確にしてもらいたい。我々も困る。高園の1班はみんなでお金を出し合って管理しようとやっています、設置位置も変えたら不法投棄もなくなりました。隣のところは投げやすいところにあるものですから、上から降りて来る人が捨てて溜まっている。町会議員の相談しごみを収集してほしいとお願いしたら町が収集してくれるのですが、普段は収集してくれません。自治会が管理することになっているので、自治会で管理するのか、地区で管理するのかを明確にもらえると思えます。</p>
<p>大野町長</p>	<p>ごみ箱をどのように管理しているかは分からないので、担当部長にお任せしますが、今の発言の中で町会議員が言ったから収集する、町会議員が言わなかったら収集しないということはあつてはならないことだと思います。議員が言ったから動く、住民の方が言ったから動かないということはないと思います。役場が動かなければならないことであれば、役場は動きますし、それは違いますということであれば、やらなければ良いことですので、今まではどうだったかわかりませんが、私はそういうスタンスでやって行きたいと思っています。</p>
<p>米田住民福祉部長</p>	<p>大変申し訳ないのですが、静内地区のごみステーションの管理は自治会で持つのか、利用者で持つのか、持ち帰りまして直ぐにお答えを出したいと思っておりますので、よろしくお願いします。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>発言に不適切な部分がありました。申し訳ありません。</p>
<p>岩渕総務企画部 参事監</p>	<p>J R日高線の関係ですが、今年で丸4年動かないままで、まだ協議がされているところがございます。管内7町の町長、議会も含めていろいろと協議させていただいております。最初はいろいろな手立てがあるということを前提に、全線復旧ということをお大前提に協議を進めてまいりました。しかし、J R側の説明にもありましたように復旧費は86億円を超えるということと、4年前に被災を受けた箇所が一昨年更に被災を受けておりますので、同じところに復旧してもだめだということであれば、路線を変えて陸側の方に鉄路を作らなければならない場合も出てくるだろうという話合いもさせていただいております。そうなりますと、推計されている86億円では無理だと思いますし、早急な復旧を願うには、新しい経路を作りますと5年、10年はかかるということもありまして、昨年の秋くらいから3つの選択として、全線復旧、鷓川・日高門別間は鉄路で日高門別・様似間はバス、そして全面バスという3つの選択肢の中で話し合った結果、全線復旧は無理だろうということになりまして、現在では鷓川・日高門別間は鉄路、日高門別・様似間はバス、全線バスの二つで協議させていただいております。7町のうち浦河町を除く6町におきましては、全線バスで復旧したいという話に至っておりますが、浦河町は鉄路での全線復旧をお願いしたいということでござ</p>

	<p>います。その表現としましては、廃止ではなく休止でも良いのではないかという浦河町の意見もありましたが、その辺の協議はこれからとなっています。今月の28日に臨時町長会議がございます。昨年末からそのような話をさせていただいている中で、その後の各町の考え方がどうなのかということを確認しながら協議していくこととなりますが、結論がいつになるかはわかりません。6町がバスということであれば、新ひだか町はバスでの地域の公共交通というのが見えてくると思っております。</p> <p>その後のJRとの協議はどうかということですが、JRから受けている提案の8項目、これを各部署におきまして必要な事項を今後詰めて行き、JRと協議しながら最終的にこの町にとって有効な地域公共交通となるような提案をJRにさせていただいて、この条件をJRに理解していただくというところに進めていきたいと考えているところでございますので、ご理解をよろしくお願いたします。</p>
自治会員A	<p>全線復旧ということで取り組んでこられて、協議と言ったのですが私は交渉だと思っている。地域の思いで、あれをくれ、これをくれと言っても良いと思う。難しいと思いますが、地域には全面廃止ということをやったのではなく、現実を直視しながら日高の公共交通を考えようという会を起こして、その中で具体的に提案もしている。岩渕参事監もご存じだと思いますが、参事監には有志の会にも来てもらってこういう取組をしているという懇談を開いていただきたいと思っているので、お付き合いをお願いします。</p>
大野町長	<p>JRの話が出ましたので、1月1日付けで岩渕企画課長を担当参事監に任命して、その他にも企画政策や懸案事項について仕事をしていただくのですが、今まで前町長が全面的に復旧したいという思いで長年やってこられた下で仕事をされてきました。町長が変わりまして、私の考え方は皆さまご承知のとおりと思いますが、その下で仕事をするということでございますので、公務員として仕事するうえで当然上司の命に沿って仕事をするのは当たり前だと思っています。ただし、その過程の中でこれまでJR問題について前町長とともにいろいろと経験してきているので、今後その経験を活かしながらこの町にとって良い交通網を作る柱になっていただきたいと思い任命しましたので、前向きに良い交通機関になるよう検討してまいりますので、皆さまのお力添えをお願いしたいと思います。</p>
高野教育長	<p>教育委員会では、町の教育の基本目標としまして、「町の将来を支える心豊かな人づくり」を基本目標に据えております。子どもたちが将来、町を担っていけるだけの資質、能力を学校教育で培ってこれを目標にしようと考えております。社会教育の中でも引継いで高めていこうという考えで進めております。学校教育の推進の重点としまして3点据えておまして、一つは「確かな学力の育成」、二つ目は「豊かな心と健やかな体の育成」、三つ目は「学校力、教師力の向上」この三つを重点として、それぞれの内容で細かな具体策を立てて取組を進めようとしております。</p> <p>コミュニティ・スクールのお話がありましたが、「学校力、教師力の向上」の中に学校間、地域間連携というキーワードがあります。そこにコミュニティ・スクールの導入を位置づけています。様似町などはコミュニティ・スクールを導入して実績を積みあげていますが、他の町でも一部導入を進めている学校もあります。私どもも</p>

32年度の導入を目指して、31年度の1年間で準備を進めてまいりたいと考えております。学校再編の関係もありますので、それを見ながら進めていくこととなりますが、全部の学校を一度に実施することは難しいので、可能な学校から進めて行きます。そのための準備をこの1年間で進めて行こうと考えております。具体策としては、地域の方々にコミュニティ・スクールとは何かということをしっかり理解していただいて、導入する以上は効果があがるようなことで、ただ形だけのコミュニティ・スクールではだめなので、実効性のあるコミュニティ・スクールの導入を目指していきたいと考えています。

高校との連携についても、管内に高校教育充実協議会というものがあまして、私も出席して意見を述べておりますが、管内的に力を入れてやっているところでありますので、わが町でも進めていきたいと考えておりますし、「確かな学力の育成」のところに、ふるさと教育というものを位置づけていまして、農業高校の生徒が小学校で馬の学習の先生役を務めたりして、地域の産業と地域の高校と結びつきながら子どもとともに地域の良さや特色を理解してもらおう取組を進めています。そのようなことで高校との連携も徐々に深まってきています。

公設学習塾では、静内高校の生徒がボランティア活動で算数を教えてくれるなど、そういう繋がりも生まれておりますので、その点ご理解いただきたいと思えます。コミュニティ・スクールの導入に関わっては私自身も勉強していますし、職員も研修会にいったって勉強してきていますのでご理解ください。

学力の向上に関わっては、成果が見えていないとのご指摘がありました。町広報2月号で全国学力調査の30年度の結果をお知らせします。その中で詳しくお読みいただきたいのですが、実は数字的にも成果が見え始めてきています。特に見えたのは中学校です。国語A問題は全国平均と同じになりました。B問題は全国平均を超えました。10年間調査をやっている中で初めてです。小学校は低迷状態が続いていますが、成果が見えはじめていることをご理解いただきたい。学力が身につけていけない子どもたちへの対応策としましては、学校の授業づくりの中では習熟度別の学習を小学校からやっております。先生を配置してもらってやるというのはハードルが高いのですが、実際に取り組んで成果をあげている学校もあります。補充的な学習、学校単位でもやっていますし、ご存じのとおり教育委員会としても放課後サポート学習、公設学習塾をやっています。もう一つの手法として、授業づくりに関わってのことですが、静内第三中学校が取り入れている手法で、学びの共同体という考え方に基づく授業づくりを進めています。非常に成果をあげてきています。学びの共同体というのは難しいのですが、4人グループでさまざまな理解度の子どもたちがグループを作り、課題を与えられた時に、どう課題を解いたら良いか分からない子どもが自ら「わからない」と言える雰囲気や学級の中を作って、分かる子がその子を救い上げていく手法です。そのように学習進度がさまざまな子がお互いに協力し合って課題を解決していく手法を取り入れた授業作りをしています。これが非常に成果に結びついてきていまして、学力もそうですが、子どもたちの表情もかなり変わりました。この手法を町内の各学校にも活かしていきたいということで、道外視察などにも教員を派遣して刺激を受けさせるような取組も進めています。何かあればご意見を頂戴したいと思います。

自治会員A

「おちこぼれ」というのは皆さん周知されているのですが、「ふきこぼれ」という

	問題もあります。どう思いますか。
高野教育長	私は認識として持っていません。「ふきこぼれ」というのはどういう意味ですか。
自治会員A	<p>「ふきこぼれ」というのは、進学の問題にも絡んでいるのですが、中学卒業生が3割くらい町外に出ていくのですが、ふきこぼれ現象とって、進学意欲が強いとここでは対応できないということで町外に出してしまう。今は中学校から町外に行く子もいて、これを出さなければ静内高校にも入れるし、地域で教育できるということで、「ふきこぼれ」というのは「おちこぼれ」と一緒に大変重要だと思っています。「ふきこぼれ」についても取組があれば良いと思います。例えば、静内高校は単位制にして特進クラスを作りました。それにより国公立の進学率が伸びましたが、「ふきこぼれ」というのは、授業が早く進んでついていけない。全体の教育なので飛びぬけようとしてもできないというのが「ふきこぼれ」です。いろいろ調べてみてください。よろしくお願ひします。</p> <p>最後に岩淵参事監には「モチベーションとエンゲージメント」という言葉を贈りまして、次回、我々有志の会との懇談会をよろしくお願ひします。</p>
自治会長 ・不法投棄啓発 看板について	真沼津川ですが、川幅が下から広がってくると思いますが、川沿いにゴミが投げられている。年に何回かゴミ拾いをしているのですが、啓発看板を立てたいと思いますが、自治会で立てるべきなのか、町に要望して立ててもらうものなのかを聞きたいです。
米田住民福祉部長	不法投棄のお話だと思いますが、他の地域でも看板は設置しておりますので、職員に場所を確認させて、ぜひやっていく方向で考えていきたいと思っています。
自治会員B ・排水溝につ いて	グラウンドの上に排水溝があって川に流れるのですが、毎年、法面が崩れて工事をやっている。どうにかならないのでしょうか。
酒井経済部長	グラウンドの山側に水路の飲み口があって、排水管が詰まらないように格子をしているのですが、格子をすることによって木の枝などが引っ掛かって、雨水がグラウンドの表面を走り駐車場の先で芝生を傷めているため、毎年直している状況でございます。上流側を改修したら良いのではないかとご意見もあると思いますが、民有地も絡むものですから、そこを水路として整備するかを含めて技術担当も悩んでいます。できる部分とできない部分がある中、ごみについては地域の方々も協力して掃除を手伝ってくれているということも伺ったのですが、町も掃除をしている中で行き届かないところもあると思います。抜本的に解決できる方法があるかを含めて、内部で検討させていただきたいと思っています。
自治会員C ・防犯灯の要望 について	各自治会に防犯灯の新設要望をいただき大変ありがたいと思っております、その実施状況がどのようになっているのかということと私たちが昨年6月に要望を出しているのですがどうなっているのか。次年度以降に検討していただけるのか、要望し続

<p>酒井経済部長</p> <p>自治会長</p> <p>渡辺健康生活部長</p> <p>大野町長 (閉会挨拶)</p>	<p>けていくものなのか。</p> <p>防犯灯については、自治会要望で出てくる自治会もごさいますが、6月頃に町内の自治会に対して防犯灯の設置要望の調査をさせていただきます。その中で年間10灯から15灯程度の設置要望が来ます。現地を確認しながら優先順位を決め、予算規模の中で10灯前後を設置させていただいております。ただし、設置要望を出したのだが回答がないというご発言だと思いますが、昨年要望された件について、こういう経緯で1年伸ばしましたなど、説明が不足だったものがあれば再度説明させていただきますし、今年度も要望を伺うことで文書にて通知させていただきますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>脳・脊髄外来のご案内でお聞きしますが、私がかかっている脳神経外科で、隠れ脳梗塞というのが発見されました。町立病院からもその脳神経外科にきている人もいます。町立病院には脳の診断設備はあるのでしょうか。その脳神経外科は凄く良いと聞きました。血液が順調に動いているということがわかる機械がそこにはあるのですが、町立病院から来ている人がいると思います。</p> <p>町立静内病院にはMRIは整備されておられません。ただし、大学病院並みのCTは整備しております。CTとMRIの違いですが、CTは被爆する装置です。ただし、スピードが非常に速いので救命措置の場合には適しております。MRIの場合は磁気を発生させますのでスイッチを入れてから40分以上は診断ができないシステムになっていますので、救急には適さない機械とされています。静内病院には北大の先生が交代で来ていただいております、日高德洲会病院と提携を結びまして日高德洲会のMRIを使用させていただいております。その画像結果を北大のドクターが見ることになっています。脳神経外科の先生に町立病院で診てもらった方が良いということであれば、ぜひ診察をお願いいたします。</p> <p>本当に皆さまありがとうございました。硬い話ではなく柔い話で結構ですので、またこのような機会がありましたら、日頃思っていることをおっしゃっていただければと思います。例えば、ごみの看板の件や防犯灯の話がありました。そのようなことは私どももできる限り積極的に対応してまいりたいと思っておりますので、その他にも何かありましたら、役場に電話していただきたいと思います。今後とも町の行政に対しましてご協力を申し上げ挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>閉 会</p>	<p>10:56 終了</p>